



アドビシステムズ株式会社
141-0032 品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー19F

アドビシステムズ株式会社が 「Adobe® FrameMaker® 6.0 日本語版」 「Adobe FrameMaker + SGML 6.0 日本語版」を発表

クロスメディアテクニカルパブリッシングツール Adobe FrameMaker が XML 出力をサポート

【2000年5月16日】

アドビシステムズ株式会社（本社：東京都品川区 取締役：グラハム フリーマン）は本日、技術文書、マニュアル、レポートなど、ほぼ定型化が可能な大量ページ文書のオーサリングおよびパブリッシングに最適なツール「Adobe FrameMaker（アドビフレームメーカー）6.0 日本語版」および「Adobe FrameMaker + SGML 6.0 日本語版」を発表しました。Windows®版 Macintosh™版ともにアドビストア (www.adobe.co.jp/store/)および全国のアドビ製品取扱い会社を通じて2000年7月7日（金）より販売される予定です。アドビストアでは2000年5月24日（水）より予約受付を開始します。なおUNIX™パーソナルライセンス版およびシェアードライセンス版については販売店のみの販売となります。発売開始時期は同様に2000年7月7日（金）を予定しています。価格は以下の通りです。

Adobe FrameMaker 6.0 日本語版

Windows 版 アドビストア提供価格 110,000 円
Macintosh 版 アドビストア提供価格 110,000 円
UNIX パーソナルライセンス版 価格 オープンプライス
UNIX シェアードライセンス版 価格 オープンプライス

Adobe FrameMaker + SGML 6.0 日本語版

Windows 版 アドビストア提供価格 198,000 円
Macintosh 版 アドビストア提供価格 198,000 円
UNIX パーソナルライセンス版 価格 オープンプライス
UNIX シェアードライセンス版 価格 オープンプライス

FrameMaker は、Microsoft Windows、Macintosh、UNIX などの主要コンピュータプラットフォーム上で、ワードプロセッシングやフォーマット設定から、紙面印刷やオンライン配信といった最終出力に至るまで、大量ページ文書のパブリッシングプロセス全体を効率的に管理できるツールです。クロスメディア パブリッシングツールとして開発された FrameMaker 6.0 で一度ドキュメントを作成すれば、XML、SGML、HTML、Adobe PDF (Portable Document Format) ほかさまざまなファイルフォーマットで多様なメディアに配信することができます。今回のバージョンアップで様々な機能強化を図り、FrameMaker を活用して、クロスメディア パブリッシングのあらゆる工程を手軽に管理することが可能となりました。

FrameMaker 6.0 では、新たに Web サポート機能およびブック管理機能が強化されています。洗練された XML 出力機能と Adobe Acrobat®および Adobe GoLive®との統合により、印刷からオンライン配信に至るクロスメディアパブリッシングの完全なソリューションを提供します。また、FrameMaker + SGML 6.0 は、FrameMaker 6.0 と同様の機能に加え、一部の業界でドキュメンテーションの標準フォーマットとなっている SGML (Standard Generalized Markup Language) をサポートしています。SGML を使えば、複雑な構造をもち、頻りに内容を更新するような大量ドキュメントを、ドキュメントの構造や構成はそのままに、さまざまなアプリケーション、コンピュータプラットフォーム上、およびメディア間で共有することができます。

今回の発表について、アドビシステムズ プロフェッショナル パブリッシング プロダクツ 担当シニア ディレクターのスーザン プレスコットは、次のように述べています。「今日の企業は、印刷、Web、CD-ROM など、さまざまな選択肢の中から媒体を選択して、顧客に情報提供を行っています。これは、顧客側からすれば、ありがたいことですが、提供する側にとっては媒体毎にレイアウトし直さなければならないのでは、問題となります。そこで、アドビでは、FrameMaker 6.0 に、XML 出力機能を追加し、Adobe Acrobat と Adobe GoLive の両ソフトウェアをシームレスに統合することによって、従来から表明しているテクニカルパブリッシング市場に対する事業強化方針を継続し、多くのメディアを通じて情報を簡単に出版 / 配信できる、効率的なソリューションをビジネスユーザに提供しています。」

Web パブリッシングソリューションの主要エレメントとしての FrameMaker

GoLive および Acrobat と統合されたことにより、FrameMaker 6.0 は、アドビの提唱する ePaper™ソリューションと Web ソリューションの幅をさらに広げるコンポーネントとなります。ユーザはドキュメンテーションを印刷用途から Web 用途へスムーズに転換でき、内容に富んだ XML、および構造機能を持った PDF を利用することができます。また、Adobe GoLive は、他の HTML エディタと同様、カスケーディングスタイルシート (CSS) を生成して、紙面印刷から Web 配信まで、すべての出力媒体を通じて一貫したルック & フィールを維持することができます。

フェデラル エクスプレス社 航空安全担当技術情報マネージャ グラバー トラスク氏は、「FrameMaker 6.0 によって、膨大で複雑なドキュメントのアクセシビリティとポータビリティが新たなレベルに達しました。FrameMaker 6.0 は、テキスト編集の高速化、ブックレベルでのテキストの検索と置き換えなど、現在のパブリッシングの課題を解決してくれる、店頭で購入可能なソリューションです。最も重要な点は、PDF サポートが強化され、XML に対する強固な基盤を持っているため、こちらがオンライン ユーザに提供したいと考えているインタラクティブなコンテンツを配信することができるという点です」と述べています。

主な機能強化

・ **Quadralay** (クアドラレイ) 社 **WPSE** による **XML** 出力強化

FrameMaker 6.0に、Quadralay社が開発したWebWorks Publisher Standard Edition(WPSE)ソフトウェアを統合しました。次世代Web技術を使って、インタラクティブな専門マニュアルを作成し、これにインテリジェントな検索機能をつけることもできます。また、CSSおよび eXtensible Stylesheet Language (エクステンシブル スタイルシート ランゲージ : XSL)の両方をサポートするXMLドキュメントを作成することもできます。すなわち、XMLエレメントを洗練されたフォーマットをもつドキュメントとして表示できるようコントロールできます。また、フォーマットしたグラフィックスは、すべて、ユーザ定義によるオンラインフォーマットに自動的に変換されます。

・ **Web** 互換性を強化

Quadralay社のWPSEを追加したことによって、FrameMakerのXML出力機能だけでなく、HTML機能もさらに強化されました。電子ページのレイアウト機能が向上し、ブック全体をHTMLとDynamic HTML (CSS付き) に変換することができます。

・ **PDF** パブリッシングの強化

Windows版、Macintosh版、UNIX Solaris版のFrameMaker 6.0は、Acrobat Distiller 4.0のコンポーネントを搭載し、Adobe PDF 1.3準拠のファイルを生成できます。PDFドキュメントプロパティを新たにサポートし、構造化PDFコントロールなど、PDF出力をコントロールする新しいユーザインタフェースを使用することができます。これにより、今後登場する次世代アプリケーションにより、構造情報を持ったPDFの作成、アクセス、実行を行う際の基盤づくりができます。構造情報を持ったPDFは、段落の始めと終わりを示す構造タグの導入により、ドキュメント管理のあらゆる面における性能を向上しました。また、構造タグは、表や行、列の認識にも役立ちます。

AIX版およびHP-UX版では、Adobe AcrobatのPDFファイルへの書き出し機能はご使用いただけません。

・ **ブック** 管理機能を充実

FrameMaker 6.0では、ブック全体に対して、単語、語句などの検索と置換を行えるほか、ドキュメントのプロパティの変更、スペルチェック、ならびに向上したナンバリング・システムのブック全体への適用が可能となりました。複数章の管理のための新しいドラッグアンドドロップユーザインタフェースを採用し、章をまたいだページ番号付けがより簡単になりました。また、検索/置換など、ブック全体に対して有効な新しいコマンドを追加したことにより、ブック全体に対して簡単に新たなページ番号付けを行うことができるほか、数千ページにのぼるドキュメントやブック全体に対するスペルチェックも可能となりました。さらに、ブック内のハイパーテキストリンクの作成が可能となったと同時に、Follow-me テキスト編集機能により、自動的にユーザを次の章にリードしたり、全章の末尾の編集ポイントを示すことができます。

必要システム構成

Windows 版 (Windows 95 日本語版、Windows 98 日本語版、Windows NT 4.0 日本語版、Windows 2000 日本語版)

- ・ Intel® Pentium®または 100% 互換のプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ
- ・ 32MB 以上の RAM (64MB を推奨)
- ・ FrameMaker 6.0 : 90-145MB 以上の空き容量があるハードディスク (145MB 以上推奨)
- ・ FrameMaker + SGML 6.0 : 100-165MB の空き容量があるハードディスク (165MB 以上推奨)
- ・ 256 色以上のカラー表示ができるビデオカード
- ・ CD-ROM ドライブ
- ・ Windows がサポートするポストスクリプトプリンタ または GDI 対応プリンタ
- ・ VGA または SVGA モニタ

Macintosh 版

- ・ PowerPC を搭載した Power Macintosh
- ・ MacOS 8.5.1、8.6、9.0 日本語版
- ・ FameMaker 6.0 : 32MB 以上の RAM (64MB 以上推奨)
- ・ FrameMaker + SGML 6.0 : 32MB 以上の RAM (64MB 以上推奨)
- ・ FrameMaker 6.0 : 35 100MB の空き容量があるハードディスク (100MB 以上推奨)
- ・ FrameMaker + SGML : 35 110MB の空き容量があるハードディスク (110MB 以上推奨)
- ・ 640 × 400 解像度以上の VGA モニタ (640x480 ドット推奨)
- ・ CD-ROM ドライブ
- ・ Macintosh 対応プリンタ (ポストスクリプトプリンタを推奨)
- ・ Adobe Type Manager®(ATM®)および TrueType 対応

Unix 版

- ・ 32-64MB 以上の RAM
- ・ 64-128MB 以上のスワップ領域
- ・ FrameMaker 6.0 : 260-540MB の空き容量があるハードディスク
- ・ FrameMaker + SGML 6.0 : 260 600MB の空き容量があるハードディスク
- ・ X Window System™ X11R5 または X11R6
- ・ CD-ROM ドライブ

Sun® SPARCstation®

- ・ 日本語 Solaris(TM) 2.5.1, 2.6, 7

HP-9000 シリーズ 700, 800

- ・ HP-UX 10.2, 11.0

IBM PowerPC, RISC System/6000®

- ・ AIX® 4.2.1, 4.3.2, 4.3.3
- ・ 64MB RAM (推奨)
- ・ 128MB 以上のスワップ領域

アドビシステムズ社について

アドビシステムズ社は、1982年に創立された、米国カリフォルニア州サンノゼに本社をおくソフトウェア会社です。これまで、Web および印刷、出版分野において定評のある様々なソフトウェアソリューションを提供し、多くの業界賞を受賞してきました。その優れたグラフィックデザイン、イメージング、映像・動画、そしてオーサリングのためのツールは、あらゆるタイプのメディアにおいて豊かで視覚効果あふれるコンテンツの制作、出版、配信を可能にします。アドビシステムズ社は米国を本拠とするパーソナルコンピュータ用ソフトウェア会社中第3位で、1999年の年商は10億ドル超に達しています。アドビシステムズ株式会社はその日本法人です。詳細な情報は、Web サイト www.adobe.co.jp でご覧いただけます。

< 本件をご掲載いただく場合の読者からの問い合わせ先 >

アドビ製品一般に関する問い合わせ先

アドビカスタマーインフォメーションセンター

電話：03-5350-0407